

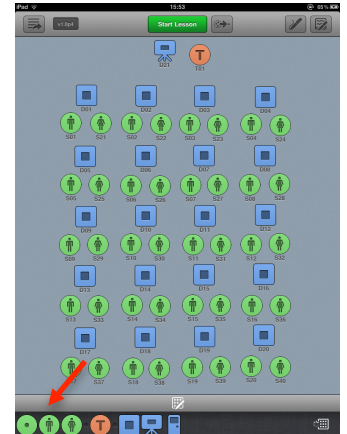
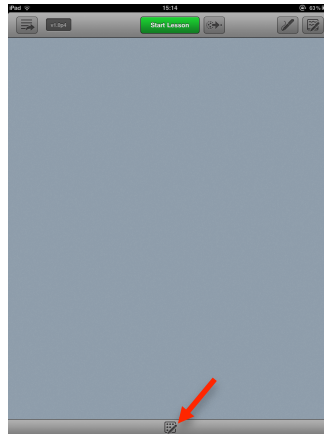
LessonNote は、Project IMPULS(東京学芸大学国際算数数学授業研究プロジェクト)と、アメリカにおける算数数学授業研究のパイオニア Lesson Study Alliance とが共同で開発した授業観察のための iPad 用アプリケーションです。授業研究における効率的な授業記録の作成をサポートすると同時に、日頃の授業中における児童生徒の学習状況の把握、分析、評価など幅広い目的で活用できる教育者のために開発された便利なツールです。

1) 座席表をつくりましょう

まず、画面一番下にあるボタンをクリックし(右図)、右図下にあるレイアウト・ツールを表示させます。

これらのツールを使って、右図のように観察する教室の座席表をつくります。

緑色のボタンは学習者、オレンジ色のボタンは指導者、青色のボタンは机、黒板(スクリーン)などの観察対象を表します。これらからまず一つのボタンを選択し、画面をタップすると、タップした場所にタップした数だけ観察対象をレイアウトできます。一度配置した観察対象は、ドラッグすると場所を動かすことができますし、タップすると、削除したり、男女の性別を変更したり、特定の名前やメモを入力することができます。



2) 記録をとりましょう

レイアウトツールのウィンドウを閉じた後、授業開始と同時に、画面上のスタートボタンを押します。

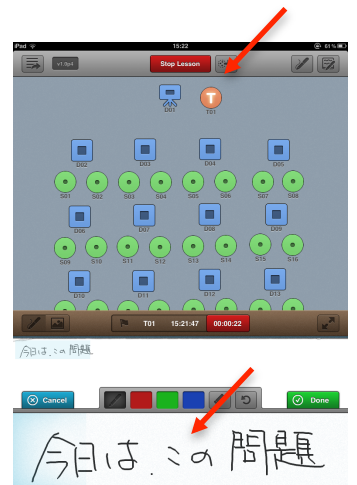
観察中に入力されたデータには、全てタイムスタンプ(入力開始時刻)が自動的に記録されます。

データを入力するためには、誰が誰に対して何を行ったかを記録します。

例えば、先生が、クラス全体に何かを言った場合には、座席表の先生をタップすると、左図のように、入力ウィンドウが現れますので、そこに手書きで文字や図を書き入れます。下から2番目の画面は、メモ全体を表す画面です。

座席表をタップして入力する以外にもいくつかの入力が可能です。

画面上のツールバーにあるボタンを使うと以下の様なことができます。

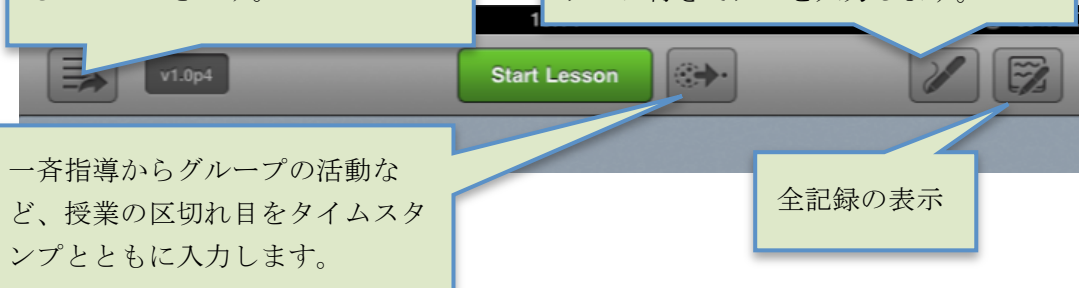


これまでに記録した授業記録を見ることができます。

参観者が思いついたことなど、タイムスタンプ付きでメモを入力します。

一斉指導からグループの活動など、授業の区切れ目をタイムスタンプとともに入力します。

全記録の表示



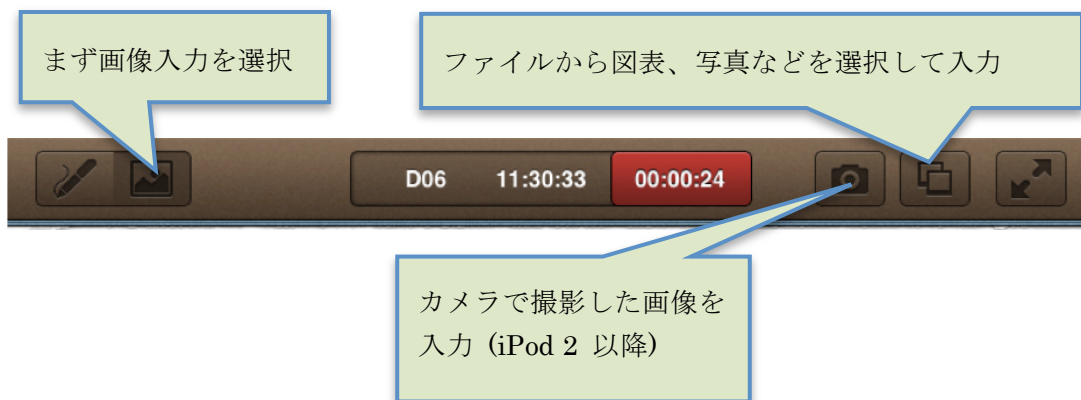
例えば、児童が誰に対して発言したかを記録したいときには、単に、発言児童をタップするのではなく、発言者を選択し、そのまま指またはスタイラスをドラッグして対象を選択すると、左図のように、座席表には、発言者から対象に対して直線が表示され、それらが座席表下のツールバーに誰から誰へ、といった形で表示されます。

また、入力ウィンドーの上にあるパレットを利用すると、文字に色をつけたり、入力を取り消したりすることができます。

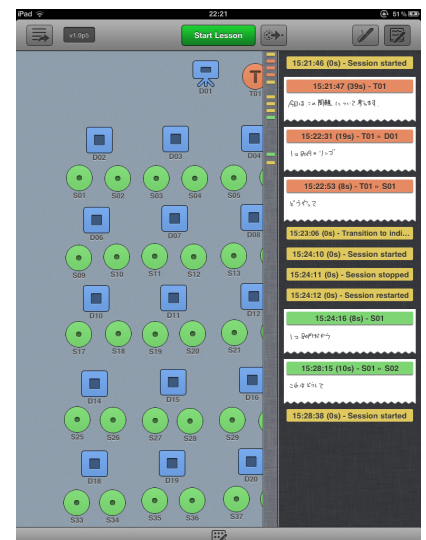


★写真の入力

下図にあるように、まず左側にある画像入力を選択すると、パレット右側のカメラボタンが現れます。これを使うと iPad2 では、附属のカメラを使って写真を撮影しデータとして記録することもできます。また、カメラの右隣にあるボタンを使うと予め撮影しておいた写真、図表などを取り込むことができます。



画面一番上のツールバーの右端にあるボタンは、記録された内容を表示できるボタンです。記録終了後、記録を開くと、下の図のような画面が表示され、画面の右側に、入力されたデータが時間の順に従って記録されます。それぞれのデータは、左にある座席表と同じ色分けがしてありますので、一目で、教師の発言か児童生徒の発言か、などの区別が付きやすくなっています。また、右側のデータのうち詳しく観たいものを選択すると、再び記録入力画面へと移り、記録を追加することができます。



なお、最初の画面には、画面一番上のツールバーの左端にあるボタンを押せば戻れます。

